



Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza.rikkyo.ac.jp>

<No.69>

特集 立教新座とSGH(スーパーグローバルハイスクール) ～ 異文化交流～

他者を認める心を育み、異なる文化の人々、そして自然と共に生きる喜びを学ぶ。自分たちとは異なった風土や習慣、ものの考え方を肌で感じ、違いを認め合いながら、自己を見つめなおす。本校では様々な研修プログラムを通して、現地を訪ね、実体験する機会を多くもつことを長年にわたって実践してきました。

単に語学力の習得に留まらず、真にグローバルなリーダー

を育成することを長年実践してきたことを評価され、2014年度より文部科学省から、スーパーグローバルハイスクールアソシエイト校として指定を受けました。今後更にその取り組みを推進していきたいと考えています。

今回のキャンパスニュースでは、本校の校外研修旅行を始めとする異文化交流プログラムや、SGHアソシエイト校としての取り組みの一部を紹介します。

立教新座中学校・高等学校 異文化交流イメージ

国内での学び・体験

詳細はp.2

まず日本のことを学び、よく知ることから

中1 オリエンテーションキャンプ

中3 校外研修旅行… 5コースの中から選択

メインテーマ：日本の自然と文化に触れる

- * 1コース40名前後で実施する
- * 少人数を生かした体験プログラムを実施
- * 日本の中の多様性を知る機会になる

高2 校外研修旅行… 3コースの中から選択

メインテーマ：平和学習

日常の中の異文化交流

詳細はp.4

クラブ活動を通じて

アメリカンスクールとの交流

Skypeなどを使って、海外の学生と対話する

英語部

生物部
アメリカンフットボール部
サッカー部など

留学生との交流

留学生の受け入れ

留学生とのディスカッションセミナーの開催

海外での学び・体験

詳細はp.3

すべて希望者対象です

語学研修

アメリカサマーキャンプ

オーストラリア短期留学

英国サマースクール

ギャップイヤー留学(アメリカ合衆国)

【進路決定後の2月から3月にかけて実施】

大学までの一貫校ならではの留学プログラムです。

語学以外の研修

興味のある分野で世界を体験する

毎年いろいろな研修旅行を企画

芸術科研修旅行
ミュージカル鑑賞 in New York

2013年度実施

理科研修旅行 オーロラを見よう!
in Sweden

2013年度実施
2014年度実施

NEW! 理科研修旅行 資源の旅
in Singapore & Malaysia

2015年度実施予定

国内での学び、体験



中学編

校外研修旅行

中学3年次に各コース4泊5日の日程で毎年5月に実施。全コースに共通するメインテーマは「日本の自然と文化に触れる」。1コース40名前後で実施するため、一般的な修学旅行とは違い、様々な体験プログラムを実施することが可能です。毎年行っている定番コースもありますが、新たな方面を加えたり、同じ地方であっても訪れる地域を変えたりと、工夫を凝らしています。

文化祭(S.P.F.)では校外研修でのさまざまなフィールドワークの体験やその成果をまとめ、コース毎に発表します。今年度実施した5コースのテーマとそれぞれのポイントを紹介します。

種子島・屋久島コース

- ◆世界自然遺産に登録された屋久島の生態系を体験する。
- ◆明治維新で重要な役割を果たし、多くの人材を輩出した鹿児島について学ぶ。

種子島宇宙センター見学

鹿児島市内観光

世界自然遺産屋久島縄文杉トレッキング

屋久島の海でシュノーケリング

北陸コース

- ◆佐渡島の歴史や文化、また朱鷺についてその生態と保護について学ぶ。
- ◆北陸の歴史と文化を知る。

佐渡金山見学

金沢市内観光

黒部ダム見学

往路：上越新幹線
復路：北陸新幹線

立山トレッキング

石垣島・西表島コース

- ◆熱帯・亜熱帯特有の自然環境(熱帯林・マングローブ林・さんご礁など)にふれる。
- ◆豊かな自然の中での人々の暮らしを知る。

石垣島川平港
グラスボート

西表島ジャングル
クルーズ

無人島キャンプ
シュノーケリング

竹富島で民宿泊
地元の方と交流会

北海道コース

- ◆世界自然遺産知床の景観と多くの動植物の観察を通じ、雄大な北海道の自然を知る。
- ◆アイヌの人々の歴史と生活や北海道開拓の歴史を学ぶ。

津別町で
酪農体験

知床 夜の動物
ウォッチング

網走監獄博物館
見学

世界自然遺産
知床遊覧船

アイヌコタン見学

関西・南紀コース

- ◆かつての都、奈良・京都を訪れ、様々な文化遺産にふれる。
- ◆伊勢・志摩の自然の力と人間の営みを知る。

京都班行動
貸切タクシー観光

鳥羽水族館
バックヤード見学

奈良見学

志摩で
シーカヤック体験

伊勢神宮見学

高校編

校外研修旅行

高校2年次に3コースに分かれて4泊5日の日程で5月に実施。全コースに共通するメインテーマは「平和学習」です。戦争体験者からの講話を聞いたり、様々な施設を見学して平和について学ぶほか、各地の名所・旧跡を訪ねます。(日程内の○数字は○日目をさします。)

沖縄コース



- ①佐喜眞美術館／首里城見学(那覇泊)
- ②沖縄シーサー作り体験／市内自主研修(那覇泊)
- ③ひめゆり記念館／平和祈念公園／旧海軍司令部壕／辺野古(車窓より)(名護泊)
- ④マリン体験(シュノーケリング・バナナボート・シーカヤック等)(名護泊)
- ⑤国営沖縄記念公園(美ら海水族館)見学／午後帰路へ

九州(長崎)コース



- ①福岡太宰府天満宮／福岡市内自主研修(福岡泊)
- ②太刀洗平和記念館／柳川舟下り／有田焼手ひねり体験(平戸泊)
- ③平戸市内自主研修／長崎へ移動／ペーロン体験(長崎泊)
- ④長崎大学医学部(講話)／長崎原爆資料館／市内自主研修・夜景(長崎泊)
- ⑤軍艦島見学ツアー／午後帰路へ

中国・四国(広島)コース



- ①岡山着／倉敷美観地区・鬼ノ城見学(岡山泊)
- ②JFE水島コンビナート見学／別子銅山見学～松山へ(道後温泉泊)
- ③今治～しまなみ街道(サイクリング)～大山祇神社(広島泊)
- ④広島平和記念資料館・平和公園／宮島～厳島神社(広島泊)
- ⑤市内自主研修／午後帰路へ

海外での学び、体験

中学3年生対象

アメリカサマーキャンプ【11泊13日】

今年で12回の実施となる、唯一中学生が参加できる海外プログラム。本校の生徒だけではなく、立教池袋中学校の生徒、現地のキャンパーと合流し、大勢で楽しく過ごします。キャンプ後には2日間のホームステイもあります。**1・2日目** サンフランシスコ（市内観光・メジャーリーグ観戦）**3日目** 飛行機でサンディエゴ経由キャンプ場へ**4～9日目** 7泊8日のキャンプ **10日目** サンディエゴにてホームステイ **12日目** 帰国の途へ



こんなコースもありました。

芸術科海外研修



ニューヨーク芸術科研修旅行

2014年3月（春休み）実施 4泊6日

語学研修以外に、芸術に目を向けた研修旅行ができないものかと構想を練り、本場ニューヨークのブロードウェイでのミュージカル鑑賞をメインとした研修として実現した芸術科研修旅行。ブロードウェイ・ミュージカルを2本観るほか、メトロポリタン美術館、グッゲンハイム美術館にも足を伸ばし、ニューヨークの教会をいくつか見学するなど、様々な芸術を肌で感じた研修旅行となりました。

高校生対象

オーストラリア短期留学【22泊24日】 高校1年～3年対象 夏休みに実施



ゴールドコースト到着後ホストファミリーと対面し各家庭へ。22泊のホームステイが始まります。月曜～金曜は現地の学校へ通い授業に参加。食事は家庭で用意してくれますので、現地で暮らしているような体験ができるのが魅力です。

英国サマースクール【17泊19日】 高校1年～3年対象 夏休みに実施



ロンドン観光のあとチェルトナムにて13泊のホームステイ。午前中は語学研修、午後は様々なアクティビティを経験。現地の生徒とクリケットをしたり、近郊の町へ出かけたりと楽しみも多彩。ハリーポッタースタジオ見学ツアーもあります。

ギャップイヤー留学【26泊28日】 高校3年対象 進路決定後2月～3月



全米最大の留学生受入機関ELS Language Centersを利用。50～60分授業6コマ×4週間、1ヶ月約100時間のIntensive Academic English Programに参加し、世界から集う留学生と実践的な英語を学びます。学生ビザを取得して渡航します。留学中はホームステイです。

新コース

理科海外研修旅行

春休み実施予定 高校1年～3年生対象

理科では、過去に2回（2013年度と2014年度）「オーロラを見よう」という研修旅行を実施しましたが、今年度は2016年3月20日（日）～26日（土）の7日間、新たに「資源の旅」を計画しています。今回は東南アジアのシンガポールとマレーシアを巡る旅です。

私たちが日常生活を過ごす上で欠かせないものの一つが「資源」です。シンガポールはマレー半島の先端にある小さな島国であるため、淡水を得ることが国の大きな事業になっています。また、あまり知られていませんが、世界最大級の石油備蓄基地もあるのです。

一方、マレーシアには豊富な天然資源があります。ゴムの原料、セッケンの原料、そして鉱物などです。この2つの国を通して、日本の資源、そして世界の将来のことを考えるきっかけを作ってほしいと考えています。

事前学習では、社会的・科学的・国際的・そして総合的な視点を通じた学びの機会を計画しています。それらをふまえ、現地での研修では、海外の生徒との国際交流や、大学での実験研修などを体験する予定です。初めてのことばかりですが、将来、国際的に活躍する生徒諸君の礎を築くことができればと願っています。

理科 渡部 智博

【行程】

1日目 羽田発～シンガポールチャンギ空港着 **2日目** AM: ホテル内でオリエンテーション / PM: ジュロン島、石油貯蔵施設見学 **3日目** AM: ニューウォーター（シンガポールにおける水政策教育施設）見学 / PM: 学校訪問とプレゼン大会 **4日目** チャンギ空港発クアラ Lumpur 空港着 / PM: 大学研究室訪問 **5日目** AM: Agriculture Heritage Park 訪問 / PM: ホテルにて実験事前研修 **6日目** AM: Shine-in-Science 実習演習 / 大学生との交流後 クアラ Lumpur 空港へ チャンギ空港経由で一路羽田へ **7日目** 朝 羽田空港到着。

語学研修3コース

理科海外研修

日常の中の異文化交流



調査の様子

★アメリカンスクール (ASIJ) との交流

本校では、サッカー部・野球部・バスケットボール部・ジャズ研究会・生物部など、多くのクラブがアメリカンスクールインジャパン (ASIJ) と交流を深めています。ASIJは東京都調布市にキャンパスがある男女共学の学校で、東京のインターナショナルスクールの中で最も歴史の古い学校です。日々のクラブ活動など、日常生活の中で国際交流が経験できるのも、立教新座の特徴です。今回は生物部とサッカー部によるASIJとの交流を紹介します。

【生物部】

生物部は、2014年度の夏（8月31日9：00～12：00）にASIJと共同で環境調査を実施しました。この調査は、生物部で毎年行っている活動の1つです。具体的には、敷地内のセミの抜け殻を採集し、種類（アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクホウシ…）ごとに個体数を調べ、気温等の環境変化と種別の個体数変化の関係を考察しています。ASIJに調査内容をお知らせしたところ、参加希望がありましたので、共同調査を実施することになりました。ASIJの参加者は、生徒5名、教員2名でした。

当日は、生物部とASIJの生徒達でいくつかのグループをつくり、敷地内を一齐に調査しました。計265個体の抜け殻を採集し、種類別に個体数を確認しました。

調査を開始した直後は、部員とASIJの生徒達の間で、うまくコミュニケーションがとれないようでしたが、調査が進むと、ASIJの生徒達から様々な質問がだされ、部員達が答えるという場面が見られるようになりました。実験室での種類の確認作業では、調査についての意見交換だけではなく、互いの学校について話をしている場面も見られました。各国のセミの話も話題となり、日本だけではなく、様々な地域のセミの印象、17年ゼミの話など、興味深い話も聞くことができました。

はじめて実施した共同調査でしたが、本校生物部員にとっても非常に有意義な経験となったように感じました。今回実施した環境調査については、可能であれば今年度も共同調査を行い、ASIJ校内との比較もふまえて、研究していきたいと考えています。

生物部顧問 和泉 利香

【サッカー部】

僕たちサッカー部は、アメリカンスクールのサッカー部と練習試合をした。その時、僕は彼らのコミュニケーション力に感動した。

彼らは試合中のコミュニケーションをすべて英語でとっていた。選手の中にはアメリカ人、日本人、それぞれいたが、みんな英語を使ってとてもすごいなと思った。それに比べ、僕たちは同じ言葉を使っているけど、コミュニケーション力が足りないと感じる。彼らと話す機会は少なかったが、英語をべらべら話している姿がとても格好良くてうらやましいと思った。

将来、どんな場面でも英語を使うことが多くなると思うので、僕たちも英語の会話力をつけていきたい。

これからますます異文化交流が進んでいく中、今回感じたことや経験を活かして、英語を自分のものにしていくことの意味を見つめ直したい。

中学3年 中村 大輝

★立教新座×ブライトン ディスカッション・セミナー

2014年の9月にオーストラリアのブライトン・グラマー・スクール（以下BGS）の生徒が短期留学として本校に通っている時に実施されたディスカッション・セミナー。これは本校の卒業生三橋紘之君の発案から始まった企画でした。三橋君は在学中に本校の「ブライトン・グラマー・スクール留学生派遣制度」（注）により1年間オーストラリアのメルボルンにあるBGSに留学し、帰国後他大学進学クラスに復帰、慶応大学法学部に現役合格した卒業生です。彼は、自分が高校時代に体験してきた国際交流を現役立教新座生に少しでも味わってもらいたいという強い思いから、ディスカッション・セミナーの企画を提案してくれました。三橋君が広報誌「新座だより65号」に寄せた文章から抜粋してご紹介します。

（注）高校1年生の希望者の中から選考で選ばれた1名が1年間BGSに派遣される制度。留学中にBGSで取得した単位の認定を受け、帰国後に進級復学ができます。BGS側からは2週間程度の短期留学生を15名程受け入れており、今回はその生徒達の滞在中にセミナーが開催されました。

グローバル化が至るところで加速している現在、母校の生徒たちに早い段階から海外の同年代の人々と「対話」する大切さを学んで欲しかったこと、そして私を留学に快く送り出してくださった母校に恩返しをしたかったことの二点から、私は本ディスカッション・セミナーの企画実現に踏み切りました。本ディスカッション・セミナーは、参加してくれた有志立教新座中高生24名と、BGSの生徒18名を6つのテーマ（キャラクター・食文化・ライフスタイル・自然・スポーツ・歴史）に分け、事前に夏期休暇中にテーマ別の課題を取り組んでもらい、ディスカッションに臨んでもらう形式をとりました。また、私たちコーディネーターは生徒に対してあくまで助言するだけで、基本的には生徒たちが主体的にディスカッションを繰り広げ、最終的に発表まで行ってもらおうよう配慮しました。

（中略）

立教新座の生徒にとって、英語はあくまで日本語で習うものであり、それを使って他のことをするという機会はありません。特に英語を普段生活で使っているBGS生たちとコミュニケーションをとったことで、今後生徒たちが大学生、そして社会人になった際に、ますます重要となる「英語を手段として使うこと」の必要性を少しでも感じてくれたと思います。

今後私たちOBが主体となり、後輩たちに海外の人々と「対話」する機会をつくってあげたいと思います。

2011年度 卒業生 三橋 紘之

★その他の交流

タンザニアの高校生とskype交流

高校英語部では昨年の秋にはアフリカのタンザニアにあるサバサバ中等学校 (Sabasaba Secondary School) の高校生とskype (スカイプ。インターネット電話サービス) を使って交流しました。この企画はJICA (日本国際協力事業団) の取り計らいで実現したものです。

約1時間半にわたり、互いの母語ではない英語で、文化や将来の夢などを語り合いました。



SGHアソシエイト校として目指すもの ～「共に生きる」ための異文化理解～

スーパーグローバルハイスクールアソシエイト校としての本校の目標は、『共に生きる力を備えたグローバルリーダーの育成』です。その柱は、「問題認識能力の育成」、「リーダーシップ能力の育成」、「多言語活用能力を伴った異文化理解能力の育成」の3つです。もちろん、共に生きる他者との間に確かな関係を築くためには確かな自分自身を持つことも重要ですので、本校の教育理念のひとつでもある「強くしなやかな個性と品格の育成」が、スーパーグローバルハイスクールアソシエイト校としての目標に繋がっているとも言えるでしょう。地球上のどこに住んでいても、そこで自分自身が幸せになり、同時に人々の幸せのために行動することができる、「共に生きる力」を備えた人材を育成したいと考えています。

本校では、この目標達成につながるさまざまな研修プログラムをおこなっています。まず中学校1年生のオリエンテーションキャンプでは、自然の中で自分を見つめると同時に他の人々を理解する姿勢を身につけます。中学校3年生の校外研修旅行では、日本の自然と文化を体験し、同時に別々の地域で研修してきた生徒たちがクラスに戻り体験を共有します。高校2年生では平和学習をテーマにし、人々が共存する意味を問い、学びます。他方、海外への研修旅行の歴史は古く、約50年前から行われています。近年は語学研修だけでなく、新たな試みとして地域独特の文化や自然を学ぶ研修もあり、多彩な研修プログラムの中から生徒は希望に応じて参加し、新たな経験をすることができます。

日常の活動でも、クラブ活動や来校した留学生を通じた文化交流が度々行われていますし、夏休みのボランティアキャンプに参加すれば、世代の違う人々と交流する機会もあります。このように、すべての活動において、生徒たちは人々や文化、自然に触れ、そこに存在する問題点を認識し、それを自分自身や他者との間で共有し、次のステップへと繋げています。

副校長 山内 辰治

キャンパスピックアップ

教育実習生母校に帰る。



早稲田大学
基幹理工学部数学科
東郷 拓巳

今回教育実習生として立教新座に帰ってきて、校舎やグラウンドは新しくなりましたが、自由な雰囲気は全く変わっていないと感じました。

私は中高六年間を立教新座で過ごしました。立教新座では通常の英語の授業だけでなく英会話の授業や選択授業があり、充実した英語教育を受けました。また高校生のときには夏休みに英国へ行くプログラムがありました。私もそのプログラムで英国へ行く予定でしたが、当時海外でインフルエンザの流行があり、残念ながら中止となってしまいました。

グローバル人材の育成という英語教育ばかりが強調されますが、私は他者を理解できるようになるということもとても重要だと考えています。私は立教新座でキリスト教という私にとって全く新しい考え方を学び、自分とは異なる考え方を認めることができるようになりました。キリスト教を通じて他者理解を学ぶことができることは立教新座の素晴らしい点だと思います。

立教新座での学びのおかげで、現在私は大学で外国人教員のもと英語を利用しながら数学の勉強をすることができています。現在中学生、高校生のみなさんには、私が行くことのできなかつた海外研修プログラムなどを含めた立教新座の充実した学習環境を自由に活用して、自らの将来につなげていてもらいたいです。



千葉大学
理学部物理学科
片山 大輔

私は、2012年に立教新座高等学校を卒業して千葉大学理学部物理学科に進学しました。その後自分の研究をしつつも教員免許の資格をとりたいという気持ちから教育実習に行く決意をしました。

私にとって母校を訪れるのは卒業式以来でした。そのため、一新された校舎やグラウンドを見たときの感動は非常に印象的でした。

実習では指導教諭の生徒の授業を実習として担当することになり私は中学3年生と高校2年生のクラスに入りました。今まで先生方に教わってきた授業を思いだしながら準備してきました。しかしいざ始まったら頭の中ではわかっている内容が生徒にはうまく伝えられない。焦りと緊張感から時には言いたいことと違うことを言うてしまうこともありました。

今回の実習を通じて私は物事を「教わる」立場から「教える」立場になる貴重な経験ができました。それは決して容易なものではなく、同時に今まで以上に教わってきた先生方の偉大さを再認識しました。大学に戻ってからこの経験を生かして精一杯頑張っていきたいと思っています。

最後に実習に関わった全ての方々に改めて感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

チャペルだより

グローバル化に思う

今日、グローバルという言葉をよく聞くようになりました。立教新座高校もスーパーグローバルハイスクールアソシエイト校に認定され、それに相応しい教育・人材育成に一層取り組もうとしています。一昔前は、インターナショナルという言葉の方をよく耳にしました。わたし自身もこの二つを混同して使っていたのですが、よく考えれば、言葉が異なれば意味も変わるわけで、ちょっと調べてみてなるほどと納得した次第です。グローバルとは、特定の国同士に限定されない地球規模での国際化でありますから、今の時代、またこれからの時代の目指すべき一つのあり方なのでしょう。

本校の過去を思い起こしてみますと、かなり前からすでにグローバル的であったと思います。英欧研修旅行や留学、多種の語学教育、ネイティブの教員に

よる実践英語など、グローバルと呼ばれる以前から、またグローバルを特に意識することなく行っていたように思います。ですから、昔の本校を知っている人からすれば、今さら？と思われるかもしれません。昨今世間で叫ばれているから、慌てて無理矢理取って付けたかのようにグローバル的なプログラムを押し入れるというのは、少しおかしい感じがするというのが正直な感想です。世の中の流れがそうなのですから、うちでもしなければという気持ちはわかります。でも、付け焼き刃では本当のグローバル化とは言えないでしょう。国際交流を同じ地球の人との交わりと考えていち早く取り入れ、長年行ってきた本校のように、それを当たり前ととらえるところにグローバル化の本物の姿があるような気がします。

グローバル化で大切なのは、外側のプログラムではありません。その内側にある人と人との交わりです。人種、文化、宗教は異なっても、同じ人であるという意識、また違いを認め尊重す

る寛大な心、これこそがグローバル化の根底になければならないと思うのです。キリスト教はグローバルな宗教と言えらると思います。長い歴史の中で多くの争いがあったことは否めません。でも、そうした過去を経験しつつも目指してきたのは、地球のあらゆる人たちとの交わりなのです。確かに、形態や習慣は国や地域によって様々です。でも、真のキリスト教はそれらを尊重します。広い心で受け入れようと努めます。なぜなら、それが当たり前だからです。人は皆異なるという前提でスタートしているからです。

グローバルとは形でも見栄えのよいプログラムでもありません。人と人との交わりにあると思います。本校には過去の遺産があります。それを破棄して作り直すのではなく、その上に積み上げていくプラスαの方法で本校ならではのグローバル化が展開されることを望んでいます。

チャプレン 西海 雅彦

行事予定 ～中学校～

| | |
|---------|------------------------|
| 7/20(祝) | オープンキャンパス |
| 22(水) | 1年社会科校外学習① |
| 23(木) | 1年社会科校外学習② |
| 7/30(木) | 米国サマーキャンプ(～8/11) |
| 8/18(火) | 清里環境ボランティア(～20) |
| 9/4(金) | 2学期始業礼拝 宿題試験 |
| 19(土) | 運動会 |
| 10/3(土) | 朝霞地区大会(～6) |
| 11(日) | 英検 |
| 14(水) | 中間試験(～15) |
| 24(土) | 中学音楽祭・S.P.F.(文化祭)(～25) |

行事予定 ～高校～

| | |
|----------|-------------------|
| 7/20(祝) | オープンキャンパス |
| 24(金) | 豪州短期留学(～8/16) |
| 31(金) | 英国サマースクール(～8/18) |
| 8/18(火) | 清里環境ボランティア(～20) |
| 24(月) | 榛名ボランティアキャンプ(～27) |
| 9/4(金) | 2学期始業式 宿題試験 |
| 12(土) | TOEFL ITP |
| 17(木) | TOEIC |
| 10/11(日) | 英検 |
| 14(水) | 中間試験(～15) |
| 24(土) | S.P.F.(文化祭)(～25) |

速報 国際大会で優勝!

高校【空手道部】

山中 望未くん(1年)

第5回東アジアシニア及び第4回東アジアジュニア&カデット空手道選手権大会が6月6日～7日、中国・香港で開催され、山中くんはJunior Male Individual Kataの部で優勝しました。おめでとうございます。インターハイ埼玉県予選会「男子個人形」の部においても優勝し、この結果7/30～8/2に奈良県宇陀市で行われるインターハイに出場します。



2015年度 学校説明会 9月13日(日)

中学校 1回目 9:30～10:30 2回目 11:00～12:00

高校 1回目 13:00～14:00 2回目 14:30～15:30

S.P.F.(文化祭) 10月24日(土)・25日(日)



Campus News Rikkyo Niiza 第69号

編集：立教新座中学校・高等学校
教務・入試広報課

発行：立教新座中学校・高等学校
〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25

☎048-471-2323(代表)